

イランをめぐる軍事行動の即時停止と外交による平和的解決を求める決議

米国及びイスラエルによるイランへの軍事攻撃並びにそれに対するイランの報復攻撃により、多くの尊い命が失われていること、また、国際社会に大きな混乱が生じていることに、横須賀市議会は深い憂慮を表明する。

中東地域における軍事衝突の激化は、世界の平和と安定を脅かすだけでなく、エネルギー供給や物価高騰などを通じて、日本国民及び本市市民の生活にも重大な影響を及ぼす可能性がある。

イラン政府による自国民への弾圧及び疑いのある核兵器開発は、国際法や国際人権法上許されないことであるが、いかなる理由があろうとも、軍事行動は平和的解決の道を閉ざすものとして、断じて容認できるものではない。

今こそ求められるのは、軍事的解決ではなく対話と外交による平和的解決である。

よって、横須賀市議会は、これ以上の犠牲者を出さないため、米国、イスラエル及びイランに対し、直ちに全ての軍事行動を停止するよう、また、日本政府に対し、即時停戦と対話再開に向けた積極的な外交努力を主導するよう強く求める。

以上、決議する。

(提出年月日) 令和 8 年 3 月 25 日

(議決年月日) 令和 8 年 3 月 25 日

(議決結果) 可決 (全会一致)